

2018年7月1日発行（第15号）

ゆうあい News



メールマガ登録用 QR コード
友愛の家のお得な情報をゲットしよう！

【夏号】



バリアフリー映画とは…視覚や聴覚に障がいのあるかたにも楽しんでいただけるよう音声ガイドや日本語字幕を付けた映画です。

『街の映画館でバリアフリー
映画が上映されるといいな』

↑ 映画に合わせて「みよまい会」による音声ガイドが入ります

みよまい会って？

視覚障がい者等への
情報提供施設である(株)
名古屋サテライト名古屋
盲人情報文化センター
にあるボランティア
サークル。

偶数月の第3日曜日セ
ンターの集会室で音声
ガイド付き映画体験会
を行っているそうです。



「岡崎でもバリアフリー映画を観たいわ」との声を受け、4月30日（月・祝）に友愛の家の多目的室でバリアフリー映画上映会を開催しました。タイトルは「はなちゃんのみそ汁」……乳がんで余命を宣告された母が残された時間を5才の娘のためにひとりでも生きていけるための力を伝えていく実話でした。

開催にあたり、何をすればバリアフリー映画を上映できるのかからはじまり、磁気ループ装置のセッティングを岡崎市難聴・中途失聴者の会会長羽田野裕子さんにご協力いただいたり、映画の素材や音声ガイドはどこにお願いするのか調べたり。どんな映画を上映するとみなさんに喜ばれるのか考えたりとバリアフリー映画を上映することが私たちにとっても学びの多いものとなりました。

「ぜひまたバリアフリー映画の上映を望みます」と鑑賞後のアンケートに多くのかたが綴られていました。バリアフリー映画が友愛の家だけでなく他の施設や、街の映画館でも上映されることがあたりまえになるといいですね。